



# くらしの情報



## AIの普及と消費者への影響

徳島大学  
情報センター講師 谷岡 広樹 様

AI（人工知能）は、コンピューターシステムや機械が人間の知識と学習能力を模倣し、課題を解決するためにプログラムされた技術です。AIは、データ解析、意思決定、自然言語理解、画像認識などのタスクを自律的に実行できる能力を持ち、その適用範囲は広範囲に及びます。AIの歴史は長く、1950年代に最初のAIが開発されました。初期のAIは論理的なルールに基づいて問題を解決しようとしていました。第1次AIブームです。その後、1980年代にコンピューターの高性能化とデータベースの大規模化に伴い、第2次AIブームがきます。現代のAIにつながるニューラルネットワークが開発されたのもこの頃です。2000年代、機械学習と深層学習の進歩により、AIの性能が大幅に向上し、現在は第3次AIブームといわれています。

現在、AI技術は私たちの生活のあらゆる側面に浸透しています。医療診断、製造業の自動化、金融のリスク評価、交通システムの最適化、カスタマーサポートの自動化などが挙げられます。これにより生産性向上や新たなビジネスモデルの創出が可能になり、経済的な利益が得られています。一方で、AIの課題としては、個人プライバシーの侵害、アルゴリズムに偏りや差別がある場合の倫理的問題、データの品質とセキュリティ、技術的な信頼性などが挙げられます。また、人間の雇用への影響と職業構造の

変化も課題の一つです。これらの課題に対処するために、倫理的なガイドラインの策定、法的規制の整備、データの適切な管理、教育とトレーニングの強化が必要です。

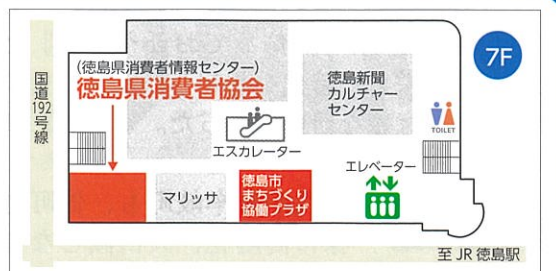
AIの利用には法的規制の整備だけでは解決できない課題も浮上しています。個人プライバシーへの侵害、差別的なアルゴリズム、自動化による雇用損失などが懸念事項です。個人データの適切な管理と保護、アルゴリズムの透明性と偏見の是正のための倫理的なガイドラインの策定が必要です。現状のままでは、我々消費者は、AIが生成した情報に基づいて作成された商品を購入し、再利用してしまう可能性も懸念されます。その結果、知らず知らずのうちに犯罪に巻き込まれる可能性すらあるのです。AI技術は今後も急速に進化し、私たちの生活に大きな変化をもたらすでしょう。我々消費者は、AIができることとできないことをよく知り、自身のスキルや知識を継続的にアップデートすることをお勧めします。また、AIの使用の法的・倫理的な課題の存在を理解しましょう。AIは今後、人間社会にとってなくてはならない存在となる可能性が高まっています。その潜在能力を最大限に引き出すために、適切な知識と倫理的な判断力が求められます。

本原稿はAIを活用することにより5分で作成されました。

発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL (088) 625-8285(代)  
FAX (088) 625-8312  
E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp

【徳島駅からお越しの場合】アミコビル(旧そごう)建物内エレベーター・エスカレーターにて、7階までお越しください。【徳島県消費者情報センター】内にあります。





## 東 部 地 区

### 徳島市

何処からともなく風に乗って  
金木犀の甘い香りが漂ってくる。

6月、久し振りの県外研修で高知城歴史博物館を経て牧野植物園へ行った。日本植物分類学の父



である牧野博士を育んだ豊かな自然を再現した園内で、昔諳んじた歌碑を見つけて、咄嗟にカメラを向けた。「草を褥に木の根を枕 花に恋して九十年」-我が回顧 牧野結網-博士を語るにこれ以上の表現は見当たらないと思う。

10月13日、市役所にて、特殊詐欺防止キャンペーンを警察と連携して行った。迷惑電話防止機能の付いた電話機の受信も体験した。（山城美三子）

## 南 部 地 区

### 阿南市(羽ノ浦支部)

コロナ禍での規制もなくなり、今年度は5月に「ゴキブリ団子」、6月に「そうめんつゆ」作りをすることができた。

9月13日には、34名の参加で4年ぶりの研修旅行を実施した。



朝6時に集合し、まず祖谷のかずら橋へ。その後、たらいうどんの昼食、山川のぶどう狩りでお腹も満たされ、「藍の館」の見学と藍染体験（写真）を楽しんだ。染めあげたハンカチの見事な美しさに、「飾っておこうかな」と言う人も。藍で栄えた時代を想起し、素敵な藍染作品にふれ、有意義な研修になった。（田井 和子）

### 牟岐町

我が町牟岐町も、他町村と同様に高齢化、人口減となり、私

の様なUターン新参者も貴重な存在になって、旧友の誘いもあり、消費者協会に入会した。



私達が悪質な手口の振込詐欺及び勧誘に騙されないよう地域の皆さんと一緒に、啓発活動に努力していきたい。その一環として、本年11月14日の南部のつどいが開催される。これを契機に、会員の皆様とともに、啓発活動に、一層の努力をしたいと思う。

（写真は南部のつどいに向けた準備会議の風景）  
（木村恵美子）

## 西 部 地 区

### つるぎ町

当消費者協会では、コロナ感染予防で、活動が制限される中、独居老人や高齢者のみの世帯の方々に声かけ運動をしている。

昨年のものである。独居老人が翌日の昼過ぎまで、誰にも気付かれずに脳梗塞で倒れていた。近所の方が新聞がそのままであったので不審に思い、発見に至ったが、右半身が麻痺して、未だに不自由な生活を送っている。

本協会では、今年の総会に独居老人が増える中、肩からかけたり、ウエストに付いたり、ケイタイを常時身に付けられる、反射式メッシュポーチを配った。これからも心やさしい協会にしていこうと会長をはじめ会員が頑張っている。



（遠藤 卓子）

### 三好市

8月24日、若者と高齢者の消費生活を通じた交流会に、池田高校辻高生4名、同校教師4名、他消費者協会、市職員、消費生活相談員併せて20名は、東祖谷の「そば道場」に於いて、特産のそば打ち体験会に参加した。共同作業を通じて、会員相互に連帯感が醸成され、試食後「消費者被害からの対処法」

について、消費生活相談員の講話を聞いた。「名頃かかしの里」で、山間地の過疎の現状や、「重要伝統建造物群保存地区」の落合集落など、文化遺産を知り、交流会で理解を深めた。



(内田 勝子)

## 東みよし町

令和5年度総会を6月28日に開催した(出席者52名)。記念講演として「パラダイムシフト(3S)知って調べてそうしよう」徳島県環境アドバイザー川村俊子氏の楽しくわかりやすいお話に会員からの質問が次々にあり有意義な会となった。

10月5日、食品ロス削減キャンペーン&アンケートを「マルナカ」「マルヨシ」の2店舗で実施した。多くの方がアンケートに参加して下さり、今までにない成果となった。それだけ消費者の皆さんが消費者問題に関心を持ち、前向きに取り組んでいる事がわかった。



(新田 正子)

## 北部地区

### 鳴門市

今年5月28日、当協会会長戸田浅夫氏が87歳の生涯を閉じました。葬儀には、市長・泉理彦様をはじめ、たくさんの方々が参列され、会長の温かい人柄を改めて感じることができました。協会活動を振り返ってみると、「お接待」の機会にあわせて啓発活動



(毎年恒例で描かれていた里浦町の大手海岸「初日の出」)

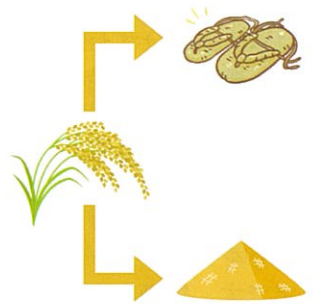
を積極的に行うなど、様々な活動を会員と共に歩んで頂きました。また、日頃から会員の声にも耳を傾け、適切な助言も頂き有りがたかった事が思い出されます。今は、先に亡くなられた奥様と一緒に、恒例の初日の出を描きに行ってください。長期にわたり消費者協会の為に努めて下さり、本当にお世話になりました。(野村 富子)

## 藍住町

国連のグテーレス事務総長は「地球は温暖化から沸騰の時代になった。」と言っている。実際、今年の夏は格別暑かった。異常気象がニューノーマルになりつつある。

8月21日、四国大学の須藤茂樹教授に「落語の中のエシカル消費」について講義をして頂いた。古典落語からは、江戸時代が循環型社会で自然や環境と共存していた様子を学ぶことが出来る。例えば稲藁は、編み笠や蓑、草鞋や屋根にまで使われ、肥料にもなった。「もったいない精神」が溢れていた。現代は大量生産、大量消費で地球も人間も疲弊している。すべてが昔の生活に戻ることは出来ないが、歴史に学び、子孫のために現代でもやれることを考えよう。

(久米川千代)



## 阿波市

阿波市消費者協会は今年発足4年目を迎えた。コロナ・インフル流行の中、会員の協力のもと、5月に総会を開催、県消費者まつりには特産のミニトマトを販売した。10月には食品ロス削減キャンペーン、11月には藍住町での北部のつどいへの参加、日亜化学工業(株)への1日視察研修、そして来年1月には講演会を予定している。今後も縦と横との連携を図りながら消費者協会の存在をより知ってもらい、地道な活動ですが、地域の皆様のお役に立てるよう会員一同頑張る所存である。



(稲井 幸子)



新型コロナウイルスも5月には5類となり、イベントや行事も復活し、街や商店もかなり活気を取り戻しています。

しかし、規模の小さな事業者からは、まだまだ厳しいとの声が聞こえてきます。一体何故なのでしょう。

ひとつには、深刻な人手不足があります。

人口減少で働き手が不足し、「仕事の依頼があっても人手不足で断らざるを得ない」といったケースや後継者がおらず廃業してしまう事例も見られます。

もうひとつは「円安」や世界で起こった地域紛争などによる燃料や原材料価格の高騰が、経営を圧迫していることがあげられます。

コロナが明けてお客さんが増え、商品は売れているのに、燃料や原材料などの経費が大幅に上がっている。「売上は増えているのに利益がない」という状況になっているのです。

これまでも事業者は、コロナ禍の中でギリギリまで経費を切り詰めてきており、今回の燃料や原材料費の上昇分をカバーできるだけのコスト削減は難しいのが現実です。物価が上がる中で従業員の給与（人件費）もむしろ上げなければならない現状です。

このため今、経営を維持向上するために、IT 機器や新しい設備の導入、人材の育成などで、人材や設備、情報をこれまでよりもっと有効活用することで生産量や商品価値を高め、企業の効率性や競争力を高める（生産性の向上）取組みが必要とされています。

こうした新しい設備や人の育成には、相応の投資が必要ですし時間もかかりますが、経済が回復期に向かう「今」が、事業者にとって大切な時期なので、国や自治体も補助金や優遇税制などで、経営基盤の強化を強力に後押ししてくれようとしています。

私たち「商工会」も、事業者に寄り添う形で専門家の派遣や経営計画づくり、助成制度の申請支援などで応援しています。

地域経済を取り巻く環境が厳しさを増す中で、懸念されるのは、地域で長く営んできた身近な商店が閉じてしまい、地域のコミュニティが衰退し「地域の元気」が衰えてしまわないかという事です。

お買い物の際には、地域のコミュニティの維持についてもお考え頂く「エシカル消費」で、身近な商店、地域の商店街を皆様の力で守り育てていただければと願っています。

### 情報掲示板

徳島県消費者情報センター

### ●インターネット通販での 前払いのトラブルに注意！

「インターネット通販で、商品を注文して代金を前払いしたが、商品が届かず販売業者と連絡が取れない」といったトラブルの相談が増加しています。

代金の支払方法が前払いで、銀行振込に限定されているサイトは、注文する前に業者の住所や電話番号などの情報が適切に記載されているか、存在して

いるのか等を確認し、ネットでの評判も参考にして、少しでも怪しいと感じたら注文しないなど、冷静に判断しましょう。

サイトによっては、カード決済や後払いなどの支払方法も選択可能であるかのように見せかけ、注文後の受付メールで銀行振込を指示される場合もあるので油断できません。

振込先口座の名義人が、事業者名と異なる個人名義や外国人名義の場合は、詐欺サイトの可能性が高く注意が必要です。

お金を振り込んでしまうと取り戻すのは非常に困難です。不安なことがあれば、お近くの消費生活センターにご相談ください。

(メールマガジン2023年 8月22日配信)

### 令和5年度徳島県消費者大学校大学院

9月5日から10月3日まで毎週火曜日計5回、とくぎんトモニプラザ9階にて消費者大学校大学院を開催した。「専門教育コース」は、民法や特定商取引法を、例題による分かりやすい講義に「目からうろこ」。また、現在の消費者を取り巻く情報化社会についての講義では、AI等環境の変化を目の当たりにした。

「エシカル消費コース」は、「エシカル」って何だろう？初めて学ぶ方や実践している方も、食・衣類・環境など多方面からエシカル消費の「今」を学ぶことができた。エシカル消費に取組む事業者見学では、事業者の取組みを知り、消費生活に活かせるヒントが沢山あった。

「食品安全リスクコミュニケーター養成・食品表示コース」は、食品に関する正しい知識を持ち、その知識を活用して消費者を合理的な選択に導くことを目標にマスコミや研究機関、事業者などの立場からの食品安全に対する取組みを学んだ。

来年度以降も、今の時代に合った皆様方の関心の高い、楽しい、また、役立つ講座を目指して取組んで参ります。是非皆様のご参加をお待ちしております。

